

平成29年 第12回(定例会)

## 厚真町教育委員会会議録

1 開会

平成29年9月29日(金)午後2時30分

2 閉会

平成29年9月29日(水)午後4時31分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 佐藤 泰夫 伴 俊行 森本 早苗 長門 茂明

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 沼田 和男 生涯学習課参事 伊藤 文彦

【書記】学校教育G主幹 木戸 達也

5 会議録署名委員の指名

( 佐藤 泰夫 )

( 森本 早苗 )

6 教育長報告

(1) 行事参加等の動向

(資料1)

【質疑】

遠藤教育長：行事参加等の動向で何かあればお願いします。

伴委員：行事等に関係のないことであるが、北朝鮮のミサイルが発射されたときに防災無線からJアラートが発信されるが、あの音や声は全国一律のものなのか。

遠藤委員長：総務省消防庁から発信されると全国一律に同じものが流れる。聞きずらかったり、音が気持ち悪いという声は聞く。

伴委員：私もそう思う一人であるが、本町独自なものではなく全国一律のものであれば仕方がない。

(2) 第3回厚真町議会定例会 9月12日、13日

(資料2)

- ・厚真町教育委員会委員の任命について
- ・一般質問
- ・平成29年度一般会計補正予算について

【質疑なし】

## 7 所管報告

### 学校教育グループ

- (1) 平成29年度学校水泳プール利用実績について (資料3)
- (2) 中学生海外派遣研修事業保護者説明会(9月1日、4日開催)について (資料4)
- (3) 厚真町通学路安全推進会議設置要綱について (資料5)
- (4) 厚真町通学路安全推進会議(9月26日開催)について (資料6)

#### 【質疑】

遠藤教育長：学校教育グループから4点報告がありました。何かありましたらお願いします。

伴委員：通学路安全推進会議における参考資料の中で対策一覧表や地図などが掲載されている。厚真町もこのような形のものを作っていくのか。

沼田課長：作成する予定である。

伴委員：通学路安全推進会議という組織の性格上、危険な箇所は早く見つけて改善していかなければならないと思う。年1回の会議の中ではそれは難しい。各学校から改善要望箇所があがってくるものもあるかもしれないが、どのように危険箇所を把握していく予定なのか。

沼田課長：今年度は、もう1回会議を開催予定であるが、来年度以降は年度当初に行う予定である。

木戸主幹：この会議の流れとしては、学校から推進会議に危険箇所を提出してもらい、その後、委員が合同で現地を点検し状況を確認する。確認した箇所を道路管理者等が組織に持ち帰り検討する。それを毎年度行う形をとる。

遠藤教育長：併せて、通学路に係る地域からあがってくる要望についても対象になる。

長門委員：各学校では危険箇所マップを作成していると思う。それは危険箇所の注意喚起だけであって改善策にはつながっていなかったとうことか。

遠藤教育長：具体的にはそのようなものであったと思うので、より強く改善していくために推進会議自ら点検するとともに、また、地域が人的な形で見守りなどでフォローできるのであれば要請するし、ハード的な改善であれば、推進会議という組織名で要望することによって優先順位が高くなるし、地域が真剣に考えていることも示したいと考えている。また、危険箇所があった場合は随時対応していきたいと思っている。

長門委員：今現在、対策しなければならない箇所は把握しているのか。

遠藤教育長：学校では押さえていると思うが、教育委員会としては、まだ、把握はできていない。

沼田課長：上厚真地区では、宮の森こども園ができて、道路を横断するのにもかかわらず、横断歩道がなかったり、上厚真大橋を過ぎたあたりから歩道が狭いことなどを議会で言われている。

伴委員：せっかく組織を立ち上げたのであれば、対策一覧表等をしっかりと作っていかねばならないと思う。それをできるだけ早く作らないと、組織を作った意味がなくなる。ハードの対策では改善するのに時間を要するのかもしれないので、早くそれらを作っていくことが必要だと思う。

沼田課長 : 委員が言うように、道路管理者などに見ていただいて改修等の必要性を認識してもらおう。  
伴委員 : できるだけ早くやっていくことを望んでいる。来年度4月あたりから実際に動いていく状況を作っていくべきだと思う。それでないとなんか立ち上げた意味が薄くなる。  
遠藤教育長 : タイムスケジュールをはっきりさせて学校と連携しながら進めていきたい。

#### 社会教育グループ

- (1) 児童生徒演劇鑑賞会／9月4日(月) 10時40分／厚真中央小学校体育館  
劇団新制作座による朗読劇「泥かぶら」「八郎」2作 小中学生ほか一般14名
- (2) 自治会ナイターパークゴルフ秋季大会／9月7日(木)／新町町民広場パークゴルフ場  
7自治会／12チーム／52名参加
- (3) 青少年健全育成委員会委員夜間巡回指導  
9月8日(金) 上厚真神社境内周辺  
9月15日(金) 厚真神社境内周辺
- (4) 厚真放課後児童クラブ整備に関する意見交換会  
9月5日(火) 総合福祉センター 3名参加  
9月26日(火) 総合福祉センター 3名参加

#### 【質疑】

遠藤教育長 : 社会教育グループから4点報告がありました。何かありましたらお願いします。  
伴委員 : 青少年健全育成委員会委員の夜間巡回指導についてであるが、これには教育委員会事務局職員も随行しているのか。随行していればどのような状況か報告して欲しい。  
伊藤参事 : 上厚真地区の巡回については、宮下主幹が随行し、委員3人の計4人で行った。厚真地区については、私のほか委員3人の同じく計4人で巡回した。いずれも非行行為はなかった。時間にして午後7時から午後8時まで1時間程度行っている。  
伴委員 : 厚真放課後児童クラブ整備に関する意見交換会は、8月に実施したときが4人で、今回も少ない。子どもたちにとっては今までも今後も大事な施設であるのに保護者の参加が少ない。案内は中央小を通して行っているのか。  
伊藤参事 : 中央小と、こども園つみきの全保護者に案内しているが、配布された文書を見ていないと言う声もきいた。  
遠藤教育長 : 一概に関心の高低ではないと思うが、今回、説明会を開催した意図は、まだ、建設場所が未確定であるということで、決定した段階でなく意見を伺いたい気持ちがあった。  
1回目の説明会では反応が高くなかった。2回目はある程度イメージを提示した上で参加者の意見を聞いたかった。3カ所の建設予定地の内の最有力候補地の厚真中央小学校周辺を提示し意見を伺った。3回目の時には人数は少なかったが建設的な意見を言う参加者が多かった。最初からありきの説明ではなくて、総合的な話し合いを持つことの必要性を感じた。また、場所にこだわらず放課後児童クラブの事業そのものの拠点となる施設であるから、拠点の中身についての意見もいただいた。先に行った説明会の出席が

悪いということで、町長が議会の一般質問を受けて説明会をもう1回開催する答弁をしたので、4回目の説明会を行う予定である。推測の域であるが、保護者にとってみると反対の意見があれば参加するかもしれないが、そうでない保護者は、そうなるのかと思っているのかしれない。

森本委員 : 学校のそばに建設するのが最有力候補だと思うが、保護者の意見が現状の場所での建設が強ければ取り入れてもらえるのか。

遠藤教育長 : 我々が提案するのは、放課後児童クラブをいかに効率よく安全に運営することを重視すると、どの場所が最適地なのかで判断すると、小学校の近くが一番良いと考えている。新たに入ってくる人にしてみればどこの場所にあっても良く、今利用している人にとっては現状の場所が一番良い。

佐藤職務代理 : 上厚真地区の児童クラブはこども園と同じ場所だ。上厚真地区の施設は学校から離れている。

遠藤教育長 : それに関する質問もある。上厚真については、市街地を形成する上でのコンセプトで一緒にしたいということで整備されている。上厚真地区ではあえて小学校の近くに建設していない。

佐藤職務代理 : そういう意味では厚真地区も今の場所に建設した方がよい。上厚真と同じ考え方で現状の場所が良いというのであれば理解できる。

遠藤教育長 : 今回の厚真地区は、市街地形成ではなくて、放課後児童クラブの拠点としてどうかということである。また、役場周辺の整備も関わってくる。児童会館の施設が一番古いのでこの施設の場所を確定しなければ、役場周辺のレイアウトが描けないことから始まっている。その話は急きょ夏ころから出始めた。

伴委員 : 私が気になっているのは、教育委員会が開催するさまざまな説明会などに参加する人が少ないということである。何か他の方法を考えていかないと、関心があるかないかは別としてより多くの方に参加してもらいいろいろな意見を聞くことは大事なことだと思う。同じことの繰り返しだと参加者も増えない。参加者が少ないことから脱却することが教育委員会のいろいろな活動を保護者や町民に知ってもらうことに繋がっていく。何年間か振り返ってみても参加者が少ない。何の説明会を行っても少ないのが実態であるので、手立てを今後考えていかないといけない。教育委員会の職員が行っていることに保護者などが触れることができれば一番わかってもらえると思う。参加者が増えるように検討していかなければならない。

伊藤参事 : 開催の仕方については、例えば学校行事があるときやPTAの集まりがあるときに入っていけないものか検討したが、日程的に近いうちそのような行事等はなかった。この施設の建設スケジュールの問題もあり、時間にあまり余裕がないという事情もあり、学校行事等に入って説明できなかった。

遠藤教育長 : 今年は特にさまざまな説明会で参加者が少ないのは私も実感している。学校は時間を確保することは難しい部分はあるが、時間を取れないことはないと思う。現に前教育長時

代に海外の修学旅行の関係でPTAの集まりの中で時間を割いてもらった経緯もある。学校に負担をかけない形で場所を借り教育行政というものを伝える場所はやはり学校が一番よいと思っている。

今後、コミュニティ・スクールも立ち上がるので、地域を巻き込んだ形での話し合う場、情報を発信する場というものを工夫しなければならない。

伴委員 : 町民の方に変な意味で慣れてもらわなければならない。気安く参加できるような雰囲気づくりは大事なことだと思う。難しい部分はあるが工夫していかないといつまでも同じことの繰り返しになる。

遠藤教育長 : 来てくださいという形を変えていかなければならないかもしれない。これからは出向く形も考えていかなければと思っている。

佐藤職務代理 : 防災行政無線を使うことは可能なのか。

遠藤教育長 : 可能である。

佐藤職務代理 : 育英資金の申し込みが少ないときに、町民の方が忘れていないかということ懸念して放送をかけたことがある。

伴委員 : 防災行政無線はほとんどの人は聞いているから効果があるかもしれない。

伊藤参事 : 保護者の方は若い方が多いので、フェイスブックなどで周知することが効果的かもしれない。説明会を複数実施しているので、教育委員会の考え方など情報はなんらかの形で保護者の耳には入っていると感じている。

遠藤教育長 : 説明会の開催案内には今までの概要や席上意見などは添付している。

伴職務代理 : 中央小の児童数が150人だとすると保護者3人の出席だと寂しすぎるので、もう少し増やしたい。参加者を増やすことを頑張ってもらいたい。

## 8 議案

### 議案第1号 厚真町立学校管理規則の一部改正について

(資料7)

#### 【質疑】

遠藤教育長 : 厚真町立学校管理規則の一部改正について、質疑があればお願いします。

伴委員 : よくわかった。

遠藤教育長 : それでは提案どおり、この改正を決定してよいでしょうか。

全委員 : 異議なし。

### 議案第2号 厚真町教育委員会事務局職員の人事について

#### 【質疑】

遠藤教育長 : 厚真町教育委員会事務局職員の人事について、質疑をお願いします。

遠藤教育長 : 特にないようですので、議案第2号について決定してよろしいでしょうか。

全委員 : 異議なし。

## 9 協議事項

- (1) 平成29年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について (資料8)

### 【質疑】

遠藤教育長：平成29年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について皆さんからのご意見をお願いします。

伴委員：例年どおりですね。

遠藤教育長：例年どおりです。今年度は管内の5%ほどの学校しかテストを受けていない。実施したのは、厚真町、むかわ町、安平町、豊浦町の学校の一部だけである。胆振教育局は集計はするが管内全体の結果は北海道版の中には掲載されない。全道の市町村別の結果に厚真町の小学校・中学校が公表される。公表についていかがでしょうか。

全委員：異議なし。

## 10 その他

- (1) 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について (資料9)

### 【質疑】

遠藤教育長：平成29年度全国学力・学習状況調査の現在結果の状況について説明があったが、今回は中学校の数学A・Bで全国平均に達しなかった。

現在の中学3年生が平成26年度の小学6年のときの算数はどうであったかという、全国平均を上回っていた。中学生になって3年生の段階で全国平均に達しなかったことに対してどのような要因があるのか難しい分析になると思うが、今回のポイントになる。わかりやすいのが平成25年度の国語と算数を見てわかるように両小学校ともに飛びぬけていた。彼らが中学に入り、テストを受けた平成28年度はそのまま高い結果となっている。そのように今年度もなると思っていたがそうではなかった。

中学になると教科担任制になるので、昨年度も今年度も指導方法は変わらないはずで、指導を受けている子どもたちがマッチしやすい部分としにくい部分がどこかにあるのかもしれない。物雑な要因が絡んでいるのだと思う。気になっているのは、教科の結果と質問紙における子どもたちの意欲などや日常の考えというものに関連性があるのではないかと感じている。今回の質問紙の回答は、今までの回答から比べると、「そう思う」や「どちらかというと思う」という回答をした比率が少し落ちている。どちらかというとな否定的な考えであったり、意欲が弱い部分が見えているのが気になっている。指導方法や環境を見直す必要はあると思うが、子どもたちの学習に対する規律であったり、地域での育ち方であったりという総合的な部分が影響しているのではないかと考えている。どれかひとつを取り上げて改善できるものではないと思っている。コミュニティ・スクールなどを含めて、みんながどうやって子どもたちをみつめ、見直していくかという考える機会を増やしていかなければと思っている。教育委員会としては分析

はするが、学校自体が子どもたちの特長をしっかり押さえているので、取組の強化、分析、細かな対応、子どもと向き合う時間の充実といったものを学校に働きかけて取り組んでもらいたいと思っている。それに対して、教育委員会の支援が必要なものに対してフォローしていかなければならないと思っている。すべてを学校まかせにというわけにはいかない。

伴委員 : 教育長がいうように26年度の小学6年生が今年度の中学3年生だと思うが、国語A・B、数学A・Bとも小学6年のときより数値が上がっている。そのようなことも評価していかなければならない気がする。子どもたちも・教える側も努力した結果であると思う。全国平均に達することも大事なかもしれないが、小学校の時と中学校の時の状況がどうであるのが大事なことであると思う。少しでも伸びていけばそのことを評価して、その部分を言ってあげないといけない気がする。全国平均を下回ったので、今後どのような改善が必要なかを論議することも必要であると思うが、もっと大事なのは、子どもたちがいかに伸びたかを子どもたち自身に教えてあげることが、これからの伸びにも繋がっていくと思う。教育委員会も学校もそのような観点で子どもたちや親に話していかなければならないと感じる。

遠藤教育長 : 学力向上推進委員会で組織や取組の見直し図っており、一定の答申はもらっているが、そのなかで、子どもたちは小学校からゆるやかながら伸びている。そういったものをしっかり経年をみていくというものである。小学校と中学校が一つになって成長を見ていくということである。教務主任が中心となって分析を始めた。私も期待しているし、それが一番大切なのではないかと思っている。ゆるやかな傾斜をいかに高くしていくか、それに必要なものを提供していくことが大事だと思っている。個に応じた指導は学校現場が詳しいことであり、それを親に説明していき、それを理解したうえで子どもたちの成長を見守り育てていく。そうしないと、ある一時期の、ある特定の教科の部分についての優劣だけの結果を公表するだけになる。数字だけ独り歩きし、そのように子どもたちが見られてしまうと公表する意味がなくなる。そのような観点は十分気を付けていきたいと思っている。

伴委員 : 結果が高いときは問題はないが、低くなってダメ呼ばわりされるのではなく、子どもたちの伸びしろを見てあげないといけない。町内に結果を公表するときには、そのような観点を含めて保護者などに知らせていくことが大事である。

長門委員 : 保護者や教員から無意識に出てくる言葉が気になる。昨年度が非常にハイレベルな結果を残したので、ある意味崇拜されるくらいの位置付けになっている。「だから今年はしかたない」という空気がなんとなく感じられる。子どもたちも頑張っているが、「去年が良すぎからからぼくらはこれでしかたないんだ」と思っている。無意識に出てくることも少し意識しなければと感じている。

遠藤教育長 : 学力向上推進委員会でも出ていたことは、課題等を真剣になって探そうとしている。その中で何がダメなのかという感じて進んでいる。それも必要なかもしれないがそうで

はなくて、なぜこのような高い成果がでてきたのかなど、それをしっかり分析してもらいたい。

長門委員：先生方は生徒一人一人の分析を細かくしている。成果が上がっていると感じている。

遠藤教育長：物事を評価するときに、否定的な評価と肯定的な評価がある。肯定的な評価で視点を変えることは大事なことである。

長門委員：保護者が敏感に感じ取っているところは、小学校低学年でつまづいたところが中学校に入っても苦労している。小学校低学年の担任のテコ入れを常に意識しなければならないと思っている。

遠藤教育長：町長に小中一貫教育を委員会で旗揚げして進めると伝えてある。今後の総合教育会議の中でも明言し進めていく。町長は小中一貫教育について理解したが、せっかくなので幼保小の連携も少しずつ作り出して欲しいと言っていた。特別なことではなく、両こども園の園長が校長経験者なので小学校との連携を進めて欲しいということで、そのことは両小学校の校長には伝えてある。上厚真地区は合同運動会を行っているので雰囲気が見えるが、厚真地区の方は体験入学など一部を行っているが、担当教諭だけでなく、園長と校長の中で情報共有などができれば、幼保からの結びつきが出来るのではないかと思っている。幼保の方で意識が強くなっていけば、家庭に意識が伝わり最後には家庭教育にも繋がっていくのではないかと思っている。

【結果公表前であり、ホームページには掲載しない】

(2) 平成29年度教育委員学校訪問について (予定)

- ・日程 10月19日(月) 午前：厚南中学校、 午後：上厚真小学校  
10月30日(月) 午前：中央小学校、 午後：厚真中学校

※伴委員…10/19午前は不参加、午後は自家用車で直接学校へ

その他の委員は、午前9時青少年センター前発

10/30は各自学校へ

(3) 平成29年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会について (予定)

- ・日程 11月下旬～12月上旬で調整中

11 次回委員会の開催日程

- ・10月27日(金) 午後3時00分(予定)

12 閉会



厚真町教育委員会会議規則第18条の規程により署名する

平成 年 月 日

教育長

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

生涯学習課長（調製）